

第83回例会



午後のポエジア Part8

第1部 朗読：もう一人の宮沢賢治
～風と光にのって～
詩と音楽と映像で紡ぐ世界

第2部 交流の広場
朗読・音楽 (飛び入り歓迎)
ポーランドの詩と音楽
～ズビグニェフ・ヘルベルト年 2018～

ワインとスナック

出演：斉藤征義、霜田千代麿、松山敏、菅原みえ子、長屋のり子、熊谷敬子、村田譲、小林暁子、斉田道子、ミコワイ&ラファウ・ジェブカ、ほかポーランド人大勢



午後のポエジア 8
2018/5/26(土)
14:00～17:00
ドラマシアターども

(開場 13:30)



ポーランドと日本の詩を朗読しあうサロンのかたちでスタートした「午後のポエジア」も今年で8回目、みなアイデアを生かして、だんだん規模が大きくなりました。

第1部では、今年は宮沢賢治を取り上げます。多くの人に親しまれ愛され続けている賢治には別の「顔」もあり、それがまた彼の魅力を増す要素にもなっています。その賢治のもう一つの魅力をいろいろな作品の中から見つけ出し、朗読と

音楽と映像で表現してみようという試みです。

第2部では、ポーランドと日本の詩の朗読、音楽、ダンスなどのパフォーマンスのほか、会場の方の飛び入りも歓迎いたします。おわりにワインとスナックのお楽しみもあります。

年に一度のポーランドと日本の文化交流、人によって見つかる魅力はさまざまです。

ご来場をお待ちしています。(小林暁子)



後援  ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

wiepodlega

ポーランド
独立回復
100周年

この企画は、ポーランド独立回復100周年記念事業の一つとして、実施されるものです。

どなたも入場無料
予約不要
直接会場へ
お越しください！

お問い合わせ(小林)090-2695-3880
hokkaidopolandca@gmail.com

ドラマシアターども

江別市2条2丁目7-1
TEL 011(384)4011



JR 江別駅から右手へ徒歩5分



写真は2017年の様子
(左) 詩劇「ピウスツキ」フィナーレ
(上) 交流会



ドラマシアターどもIV



朗読とお茶の会「午後のポエジア」8

ドラマシアターども、2018年5月26日(土)14:00～17:00 (開場 13:30)

プログラム

第1部〈朗読〉もう一人の宮沢賢治 ～光と風に乗って～ 14:00～

詩と音楽と映像で紡ぐ世界

1. 序 霜田 千代麿
2. 風の又三郎 小林 暁子・松山 敏
3. 無声慟哭 霜田 千代麿
4. 「オホーツク挽歌」より 噴火湾(ノクターン) 菅原 みえ子・(ピアノ)柴田 望
5. 集合写真(自作詩) 柴田 望
6. よだかの星 村咲 紫音・(サクソ)松山 敏
7. 春と修羅 村田 譲
8. 永訣の朝 斉藤 征義
9. イーハトーヴの軽便鉄道(自作詩) 長屋 のり子・(ピアノ)柴田 望
10. 墨 書 霜田 千代麿

～ 休憩 ～

第2部 交流の広場

(司会)ラファウ・ジェプカ

朗読と音楽(自由参加)

ポーランドの詩

～ ズビグニェフ・ヘルベルト Zbigniew Herbert 年 2018(没後20年)を記念して～
(ポーランド語) (日本語)

1. 若いクジラの葬式(R・ジェプカ訳) ミハウ・マズル 菅原 みえ子
“Pogrzeb młodego wieloryba” Michał Mazur Mieko Sugawara
2. ためらうニケ(佐藤圭史訳) シルヴィア・オレーヤージュ
“Nike, która się waha” Sylwia Olejarz
3. コギトさんの怪物(沼野充義訳) ラファウ・ジェプカ 村咲 紫音
“Potwor Pana Cogito” Rafał Rzepka Shion Murasaki
4. 小石(沼野充義訳) リリアナ・コヴァルスカ ミコワイ・ジェプカ
“Kamyk” Liliana Kowalska Mikołaj Rzepka

(合唱)誰かに愛された ポーランドのみなさん・(ピアノ)安藤むつみ
Skaldowie “Wszystko mi mówi, że mnie ktoś pokochał” Polish people /
Mutsumi Ando

交流会(ワインとスナック)

16:00～

閉 会

17:00

